

## ●フレーム

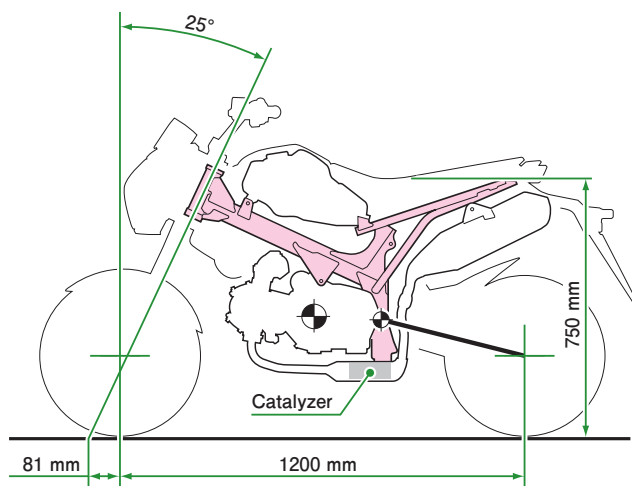
モーターサイクルのエントリーユーザーでも、市街地で扱いやすいことに加え、駐車の手やすさなどの使い勝手にも考慮した車体サイズとするため、フレームはシンプルでコンパクトなスチール製モノバックボーン式としました。

市街地で高い機動性と、郊外でのファンライドにおける軽快な走りを発揮できるようホイールベースを1,200mmと短く抑え、ヘッドパイプとピボットプレートを、剛性確保に有利な角型断面鋼管で直線的に結ぶことで、無駄のないシンプルな構成を実現しました。車体中心を通る一本のメインパイプにより、その外側にレイアウトされた外観パーツの存在感を引き立たせます。

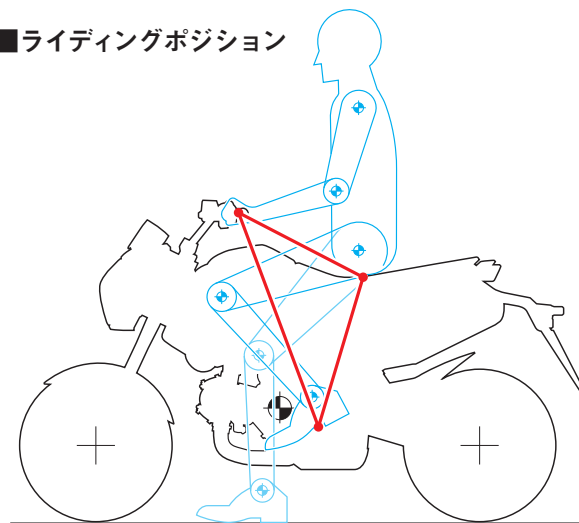
また、市街地から郊外まで安心して扱える、125ccの動力性能に見合った車体とするため、ピボットプレートやエンジンハンガープレートの板厚や形状を追求することで縦、横、ねじれ剛性のチューニングを図り、軽快感と安定感とのバランスが良い操縦特性を持たせました。さらに、シートレールのパイプサイズ、クロスプレートやガセット形状の無駄を省きながら機能を成立させたことで、コンパクトでありながら2人乗りにも対応するタフネスを持たせたフレームボディーに仕上げました。

GROM専用に設計されたフレームは、扱いやすさと軽快な走りを提供します。

## ■ディメンション



## ■ライディングポジション



## ●スイングアーム

安心して走れるコシのある乗り心地を実現するため、スイングアームの基本構成を十分な強度と適度なしなりをバランスさせた50mm×25mmの角断面鋼管パイプとしました。

全体構造をシンプルなH型とすることで、重量増を抑えて軽快さを追求しながらスイングアーム左右のスパンを広くとり、サイドビューだけでなくリアビューの力強さも表現しました。

